

【働く】施策の柱14

①予算事業名	水産業振興事業	予算科目	6-3-2-3	基本構想上の位置づけ 上段:「島づくり目標」 下段:「施策の柱」	連携する産業振興		
②担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	H30~H32	基本計画の該当箇所	多面的な漁業の振興 施策の柱14-1、14-2、14-5、14-6、14-7		
③事業内容	① 水産業の振興に係る事業調整旅費、各種団体への負担金、補助及び交付金、漁場環境の保全を目的とする積立金などの事業を実施。 ② 効率的で効果的な養殖場の更新を図るため、養殖場の老朽化状況を調べる機能診断の実施及び機能診断結果に基づく機能保全計画の策定、並びに計画に基づく保全工事を行う。						
④実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
⑤事業費【単位:円】		28年度	29年度	30年度	31年度(予定)	32年度(予定)	
	財源内訳	(a) 国庫		6,750,000		4,106,000	28,277,000
		(b) 県費		0		0	
	(c) 地方債等		0		4,100,000	28,200,000	
	(d) 一般財源	3,992,000	9,457,000	2,850,000	2,856,000	3,927,000	
	計(a~d)	3,992,000	16,207,000	2,850,000	11,062,000	60,404,000	
	特定財源名	(a)または(b)の名称	水産物供給基盤機能保全事業補助金	(c)の名称	過疎対策事業債		
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容					
	平成30年度	① 水産業の振興 ② 水産物供給基盤機能保全事業の実施 ※保全工事基本計画承認申請					
	平成31年度(予定)	① 水産業の振興 ② 水産物供給基盤機能保全事業の実施 ・実施設計 一式 ・特別単価調査 一式					
	平成32年度(予定)	① 水産業の振興 ② 水産物供給基盤機能保全事業の実施 ・保全工事(1号池、2号池) 一式 ・施工管理業務 一式					
⑦成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値(37年度)
	水産業振興事業	目標	(/)	(水産業の振興)	(水産業の振興)	(水産業の振興)	(/)
		実績	水産業の振興				
	水産物供給基盤機能保全事業	目標	(/)	(/)	(実施設計 一式)	(保全工事 一式)	(/)
実績		機能保全計画の策定					
事業効果・成果	水産業の振興が図られている。 平成29年度に仲里地区車えび養殖場の機能保全計画を策定し、平成31年度実施設計、平成32年度以降機能保全工事の着工を目指す。						
⑧写真及び図面							